

第53回全国人権・同和教育研究大会を開催

同和教育
シリーズ

全国各地から約2万人が参加

295



全体会のようす（鳥取県民体育館）

全国人権・同和教育研究大会が二〇〇一年十一月二十四日から二十六日まで、布勢の鳥取県民体育館を主会場に開かれ、全国各地から約二万人の参加者が鳥取を訪れました。初日の全体会では、基礎提案（同和教育をめぐる現状と課題 同和教育を基軸にした人権教育の確立を）と三つの大会決議案が採択された後、特別報告として倉吉市やまびこ人権文化センターの下吉真二さんによる発表が行われま



分科会のようす（遷喬小学校）

した。下吉さんは、「人は変わるんだ」あの日、絶対に言わない」と心に決めた私が今伝えたいこと」と題して、一番仲の良い友人からの差別発言に直面したことや、人の出会いを通して差別と向き合っただけで闘う生き方にならなくて行つたことなど、自身の体験をもとに熱く語り、多くの参加者の共感をえました。その後は、各分科会に分かれての熱心な討議が行われました。

参加者のみなさんに感想を聞きました

滋賀 男性

下吉真二さんの特別報告に強く感動した。倉吉会場はスクリーンだったが、集中して聞いた。帰ったら、もう一度自分たちの取り組みについて見直したい。

愛媛 女性

開会の特別報告など身近な問題が提起され、考えやすかった。地域での研修会には積極的に参加している。子どものために学習を積んでいきたい。

徳島 男性

鳥取県の同和教育の全体的な取り組み、総合的な進め方はすばらしいと思う。これらの資料を自分たちの取り組みの参考にしたい。

高知 女性

「地対財特法」の期限切れを目前にした内容が課題になっている。みなさんが心配していることがわかった。

奈良 女性

分科会の発表から、子どもたちへの熱い思いが感じられた。会場で小学生が迎えてくれる所があり、心づかいがうれしかった。

熊本 男性

部落問題の解決は、部落外の問題であるとの意見が出され、あらためてそのことを再確認した。全体会場が3カ所に分かれていたが、特に問題はなく映像も良かった。